

癌化学療法名 肺癌【非小細胞(非扁平上皮癌) カルボプラチン・ペメドレキセド療法

| | | | | |
|------|--|----------------------|------------|------|
| 実施部署 | 入院 | 1クール日数 | 21day | 未承認 |
| 番号 | 抗がん剤名・略称 | 1日投与量 | 投与方法 | 投与日 |
| 1 | カルボプラチン(CBDCA): カルボプラチン | AUC 5 | div.(点滴静注) | day1 |
| 2 | ペメドレキセド:アリムタ | 500mg/m ² | div.(点滴静注) | day1 |
| コメント | <ul style="list-style-type: none"> ・アリムタは、非扁平上皮癌に対してのみ推奨される。 ・シスプラチンによる毒性が懸念される症例や外来化学療法を行う症例に勧められる。 ・カルボプラチンは中等度催吐リスクだが、長時間型制吐剤アロキシ注を使用することを推奨して ・治療1週間前より、副作用予防としてビタミンB12 1g(メチコバル注500μg 2管)を筋注(9週毎) ・治療1週間前より、副作用予防として葉酸0.5mg(パンビタン末1g)を経口内服(連日)、アリムタ最終投与から22日目まで可能な限り服用する。・・・光に不安定のため遮光必要 ・出来れば、皮疹予防のためにデキサメタゾン8mgを投与前日、当日、翌日に経口又は注射にて投与するのが望ましい | | | |

| 投与日 | 薬剤名 | ルート | 時間 |
|----------------|---|-----|-------|
| アリムタ投与 7日前～ | ① メチコバル注 500μg 2A | 筋注 | 9週毎 |
| | ② 調剤用パンビタン末(葉酸0.5mg/g) 1g | 経口 | 連日 |
| day1 | ① アロキシ注0.75mg + デキサート注 + 生食100mL | div | 15分 |
| | ② アリムタ注射用500mg/m ² + 生食100mL | div | 10分 |
| | ③ カルボプラチン AUC5 + 生食250mL | div | 1時間 |
| | ④ 生食50mL | | フラッシュ |